

# 事務事業チェックシート

事務事業No

事業名

[事業基本情報]

74

認知症総合支援事業

[長期総合計画]

分野別目標	4	誰もが安心して住み続けられる持続可能なまち
政策	9	将来に向かって希望の持てる福祉社会の形成
施策	2	高齢者の生活の充実
取組方針	1	高齢者が住み慣れた地域で自立して暮らすことのできるまちづくり

事業区分(1)	事業経費	○	管理経費	
	その他			
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務	
	その他			
会計・ 予算区分	会計	介護保険事業特別会計		
	款	地域支援事業費		
	項	包括的支援事業・任意事業費		
	目	包括的・継続的ケアマネジメント支援事業費		
	大事業	包括的・継続的ケアマネジメント支援事業		
中事業	認知症総合支援事業			

事業種別	継続	関連個別計画			
事業年度	平成27年度～	担当課・担当課長・Tel	地域包括支援課	山路正晴	435-1197
事業実施の根拠法令	介護保険法第115条の4第2項第6号	関連課			

## 1 事業内容

事業目的	(「誰・何」をどういう状態にするための事業か)		全体事業概要			
	「認知症になっても本人の意思が尊重され、できる限り住み慣れた地域で暮らし続けることができる社会」を実現することを目的とする。		認知症になっても本人の意思が尊重され、できる限り住み慣れた地域で暮らし続けるために、初期段階からの適切な診断と対応、認知症に関する正しい知識と理解に基づく本人や家族への支援などを通じて地域単位での総合的かつ継続的な支援体制を確立するために各種事業を実施する。			
事業内容	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和02年度	
	①認知症初期集中支援の実施 ②認知症地域支援推進員の配置 ③認知症カフェ新規開設者への補助	①認知症初期集中支援の実施 ②認知症地域支援推進員の配置 ③認知症カフェ新規開設者への補助	①認知症初期集中支援の実施 ②認知症地域支援推進員の配置 ③認知症カフェ新規開設者への補助	①認知症初期集中支援の実施 ②認知症地域支援推進員の配置 ③認知症カフェ新規開設者への補助 ④医師による認知症相談の実施	①認知症初期集中支援の実施 ②認知症地域支援推進員の配置 ③認知症カフェ新規開設者への補助 ④医師による認知症相談の実施	

## 2 事業コスト

事業費等(千円)	平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度		令和02年度		
	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算	
事業費	3,234	1,227	2,854	1,703	2,346	1,756	4,314	0	4,314	0	
伸び率(%)	△3.4%	65.8%	△11.8%	38.8%	△17.8%	3.1%	83.9%	△100%	0%	0%	
人件費	正規職員	7,948	7,869	6,142	7,418	6,794	3,677	4,316	0	4,316	
	正規職員以外	1,672	1,672	1,726	1,204	1,259	1,140	1,093	0	1,093	
	小計	9,620	9,541	7,868	8,622	8,053	4,817	5,409	0	5,409	
国庫支出金	1,261	478	1,113	664	903	676	1,660	0	1,660	0	
県支出金	630	239	556	332	451	338	830	0	830	0	
市債	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
その他	711	269	627	374	539	403	992	0	992	0	
一般財源(税等)	632	241	558	333	453	339	832	0	832	0	
所要人数(人)	正規職員	1.00	0.99	0.77	0.93	0.85	0.46	0.54	0.00	0.54	0.00
	正規職員以外	0.76	0.76	0.76	0.53	0.53	0.48	0.46	0.00	0.46	0.00
主な予算内訳	認知症初期集中支援チーム配置委託料 1,286千円										

## 3 目標及び実績

活動指標	指標名	単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和02年度
			目標値	実績値	達成度(%)	目標値	実績値
認知症初期集中支援チーム対応実人数	人	目標値					
		実績値	7	8	14		
		達成度(%)	%	%	%	%	%
認知症地域支援推進員配置数	人	目標値	1	1	1	1	1
		実績値	1	1	1		
		達成度(%)	100%	100%	100%	0%	%
認知症初期集中支援チームの介入により介護保険サービス又は医療サービスにつながったケース	件	目標値					
		実績値	3	3	5		
		達成度(%)	%	%	%	%	%
		目標値					
成果指標		実績値					
		達成度(%)					
		目標値					

#### 4 事業の評価

評価基準					
[妥当性]事業のニーズはあるか		増加している	○	横ばい	減少している
[妥当性]事業手段は妥当か	○	現行の手段でよい		一部見直しが必要	見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か		市が行うべき	○	他の主体との協働も可能	市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要があるか		急いで取り組む	○	中長期的に取り組む	緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか	○	できる		あまりできない	できない
[有効性]成果目標ほどの程度達成しているか	○	達成している (90%以上)		おおむね達成 (70~90%未満)	達成していない (70%未満)
[有効性]上位施策への貢献度	○	重要かつ高い貢献度がある		一定の貢献度がある	貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか	○	できない		制約はあるが可能性はある	できる
[効率性]受益者負担の見直し	○	適正		負担は求められない	見直しが必要

#### 5 今後の方向性 (担当課評価)

事業内容の方向性	充実				
	現状維持		○		
	縮小				
	廃止				
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性					

担当課評価の根拠	他事業からの組み換えがあったことから、事業費は大幅増となっているが、組み換え前との比較では、おおむね横ばいとなっている。
見直し・改善内容	認知症初期集中支援チームの普及啓発を図る。また、チームとの連携をより密にし、事業を実施する。